

夢路より（ 夢見る人 ）

夢路より かえりて

星の光 仰（あお）げや

さわがしき 真昼の

業（わざ）も今は 終わりぬ

夢見るは 我が君

聴かずや 我が調へを

生活（なりわい）の 憂（うれ）は

跡（あと）もなく 消えゆけば

夢路より かえりこよ

海辺より 聴こゆる

歌の調へ 聴かずや

立ちのぼる 川霧（かわぎり）

朝日受けて 輝（かが）よう

夢見るは 我が君

明けゆく み空の色

悲しみは くもいに

跡もなく 消えゆけば

夢路より かえりこよ